

オリンピック出場が期待されるカザフスタンの選手で、特に注目している選手について教えてください。



「我が国では重量挙げ、陸上、自転車競技、ボクシング、レスリング、水泳などの競技の人気が非常に高く、レベルも上がってきているので、メダルを取ってくれると信じています。特にレスリングのヌリスラム・サナエフ選手、ボクシングのヴァシリー・レビット選手などが良い結果を出してくれると期待しています。

それに加えて、リオオリンピックの男子平泳ぎ200メートルで金メダルを獲得したドミトリー・バランディン選手や、ロンドンオリンピックの女子三段跳びで金メダル、リオオリンピックで銅メダルを獲得したオルガ・リパコワ選手にも期待しています」

普段しているスポーツや好きなスポーツはありますか？

「スポーツは私たちの日々の生活に活力を与えてくれますが、私の場合、そのスポーツは卓球で、子どもの頃からやっています。卓球は、最もエキサイティングなゲームの1つだと思います。手と目の動きを連動させ、試合の局面ごとに対応していかなければならず、肉体だけでなくメンタルの強さも要求されます。それに卓球は、練習を積み重ねれば積み重ねて難しくなっていきます。より高度なレベルの技術を身につけなければならなくなるからです。卓球の試合は非常にエネルギッシュなので、常に体調を整えるよう心がけています。

2008年から2016年まで大使を務めていたシンガポールは卓球の盛んな国であるため、個人コーチをつけて練習に取り組むようになり、試合にも出場していました。日本でもコーチをつけていて、週2回は練習を行っています。自慢ではありませんが、『ニッタクニュース』（日本卓球刊）に取材していただき、2019年10月号に掲載されたこともあります。

2年前には、日本代表の経験もある張一博（チャン・カズヒロ）さんに教わったこともあります。2018年に沖縄の『琉球アスティーダ』に移籍し、現在は監督を務めておられるので、なかなかお会いできなくなってしまったのが残念です。卓球は見るのも好きで、Tリーグの試合も2回ほど見に行ったことがあります。

卓球以外では、サッカーや大相撲を見るのが好きです。2019年11月に開催された第97回全国学生相撲選手権大会の団体戦では、カザフスタン出身のバルタグル・イェルシン選手も出場した日本大学が優勝し、そのニュースはカザフスタンでも報じられました。イェルシン選手は、8月に開催された第44回全国学生相撲個人体重別選手権大会でも135kg以上級準優勝という素晴らしい成績を収めており、活躍を嬉しく思います」

